

い　な　づ　ま

題字 小寺 寛一

発行所 函館地方電気工業協同組合

住 所 函館市新川町31番11号

編集人 佐藤輝夫

印刷所 有限会社 豊國堂印刷

謹 賀 新 年

年頭挨拶

理事長 大倉伸夫



組合員の皆様明けましておめでとうございます。

皆様始め御家族従業員の皆様には元気で新年をお迎えの事と心からお喜び申し上げます。

年頭にあたつて

北電函館支店長

小池正男



明けましてお目出とうございます。

こゝに所謂激動の七〇年代の二年目を迎えたわけでありますが、その皮切りの年であった昨年を振り返ってみて如何でしたか?。

一般的にはあるいは予想されたような社会変革もなければ政局の動搖もなく、結局は依然としての高度経済成長が続いただけだったと云えるのではないでしょうか。それは本道における上半期の電力需要を見ても判るように前年比で二十一・五%増と云う素晴らしい成長ぶりでした。こゝで注目すべきは函館地方のそれは前記をさらに上回って三十二・八%増と云う驚異的躍進を示したことです。たしかに各産業は競って設備を増強し、また市内には大きな建築物が相次いで建られました。しかもこの傾向は今後もさらに続くでしょう。

さて一方業界に目を向けるとこれはまことに多彩でした。目ぼしいトピックだけでも拾つてみると、まず年度初めには外線工事の皆さんのが統合して新会社を創立されました。次いで組合理事者の大改革が断行されました。

さらに年末に至つてかねて話題の電気工事業法が施行されました。しかもこれらはいづれも将来に向つて多くの問題を抱えている重要な課題であると考えられます。実は激動の年代は業界内にこそあつたと云えるのではないどうか。

組合員各位には今後これらの問題において大いに創意、運用の妙を發揮されこの年を輝やかしい繁栄の年とされるよう祈念する次第であります。

事故なく今年一年過されます様お祈り致します。
未筆乍ら、益々組合員各位の御発展と御家族従業員皆様
を痛感致しておりますが役員組合員皆様の御鞭撻に依り、
その任を全うしたいと存します。

年頭のご挨拶

北電函館営業所長

柴田幹雄

北電八雲営業所長

土倉昭

年頭のご挨拶

北電江差営業所長

右近恒二



あけまして、
おめでとうございま
す。

昨年は業界の皆様より
いろいろご協力をいた
だき、ありがたく厚く
お礼を申し上げます。さて昨年は外線工事会社の設立
をはじめ電気工事業法の制定など重大な事柄のあった
年でそれだけ皆様方には、多忙で問題の多い年であつ
たことと存じます。

今年は当営業所開設三年目を迎えますが、昨年は販
売電力量で約四十パーセントと著しく前年比に急増し
電設工事も略前年実績位の引込以下工事があり、新年
を迎える迄、互いに多忙な年でありました。昨年意志
疎通を図る方法として、内線工事面で北工連絡会議を
又外線工事面から外線工事連絡会議を、それぞれ開催
しましたが、両会議共いよいよ活発に運営され業界と
当社間のよき潤滑油的機能を果してくれるものと本年
も更に大きな期待をもっています。

本年は亥年で猪のように業界の皆様が前進発展され
るよう心から祈念いたします。

新年おめでとうございます。
皆さま方から寄せられた過ぎし年の、溢れるばかりの
ご支援を心からお礼申し上げます。
過ぎし一年、あの日々を私たちはどうにつかつ
たことでしょうか。物心両面によい決算報告ができた
のでしようか。

いまや再び新しいノートが与えられました。
この真白な紙面をどのような埋め方をするかは私た
ちの自由であります。ぜひ魅力の多い内容であります
何の役にも立たない

退屈な内容で埋めたく
ないものであります。
「叩けよ、さらば開
らかれん」



木の扉、岩の扉鍛つい
た扉、それはそれはさまざまあります。
叩くも叩かぬも私たちの自由であります。が、叩か
ないで開られた扉はなく、叩いて開らかぬ扉もない
のであります。激動の七〇年代。皆さまの弹性に富む
事業展開とご繁栄、和協一致これを支え推し進める方
々のご多幸をお祈りしてやみません。

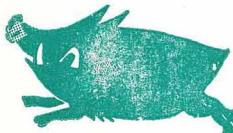
希望あふれる一九七一年の年頭に当たり本紙にて、ご
挨拶申しあげる機会を与えられ、まことに光榮に存じ
て居ります。

私は平素から管内の工事業者の方々や当社員にも機
会あるごとに申し上げているのですが、電気事業を遂
行するうえに、電気工事業者の方々と北電は車の両輪
のようなもので、どちらも平行に足並みを揃
えて行かなければ目的に向って直直ぐに進む
ことはできないわけで
お互いに一致協力して
行くことが一番大切と
思っております。



昨年は当支店管内で函館電気工事株式会社の誕生を
見ましたが、さらに工事業者の方々の多年の念願が実
って電気工事業法の成立を見るなど、お互いにとって
大きな変革の年でありました。世情も欠陥商品から公
害問題といろいろなことがありました。これらの問
題は今年も尾を引きそうであります。

今や空氣と水について国民生活の必需品となつた電
気の供給義務達成と地域社会発展のため、私どもとし
ても、今後あらゆる障害を乗り越え努力いたしたいと
存しますので業者の方々におかれても、よろしくご協
力下さるようお願いする次第であります。



理事会だより

事となりました。

今号より毎回理事会便りを掲載する事となりました。これは機会ある毎に地区委員会の再三の要望もあり、かつ又組合業務の運営執行について理事者側の心構え方針等を組合員の皆様に認識して頂くと同時に、これに対する各組合員の意見批判等を積極的に出して頂き理事会並に組合員の意思疏通を計ると共に、七拾年代の多事多難なる今后の組合運営の課題についての前進的効果的な進展への一助ともなればとの吾々編集員の切なる願いもこめて、各月理事会に於ける主要議題についての討議決論の概要を御紹介する事となつた次第です。

○四十五年度第七回理事会（臨時総会役員改選後第一回役員会）

一、役員改選后初めての開催ですので新役員の顔合はせを兼ね、正副理事長の選出、担当区分の割り振りが主要議題となりましたが、この事は前号の誌上に御紹介しましたので省略します。

二、伊東理事は選挙後辞意を表明されて居り、その決定は理事会に保留となつて居りましたが、出席理事全員の希望で、在来通り組合運営に協力して頂くことになりました。

○第八回理事会

一、電気工事法施行に伴い、その説明会が通産省主催のもとに、後日開催される事につき積極的に参加される事と理事長より説明、協力方を望まれました。

二、拾月末現在に於ける貸借対照表、損益計算書の提示があり、その内訳及び経理状況について質疑応答が交されました。

三、正木書記辞職后事務所管理者が不在のままで、保安上の不安もあり、早急に後任者を求めたいが、適任者の見当らない現状ですので、良策を考慮中ですがこの事については正副理事長に適当な措置を一任する

五、前記事務所管理者不在の事もあり、今回改めて組合建物五百万元、什器一式六拾万元、商品一式壱百万元の保険に加入する事となりました。

○第九回役員会

一、電気工事業法に依る登録手続きについては、組合がその窓口となり処理する事とし、明年一月末迄に取りまとめ提出する事となります。必要書類の配布並びに記入方法については一月定期理事会で具体的に研究の上、実施する事とします。

二、現在の組合融資制度については、組合員個々の今后の資金調達能力の拡大、信用力の充実等への布石の一助ともなる事を考慮して、商工中金より取り敢えず組合保証のもとに、保証人二名、金額式拾万元の枠内で直接借り入れの方法を取る事に変更したいと思うので、詳細まとまり次第皆様にお知らせする事となります。が、御諒承の上有効に活用される様希みます。

三、従来組合加入申し込みを受けたものに対しても、各期毎に取りまとめ北電に申請して居るが、今回の業法施行に伴い諸般の事情を考慮して、其の都度申請する事とし、加入金その他の事は再検討して決める事となりました。

駒井

組合だより

十一月六日十三時 第四回北工連絡会 於組合会議室

出席者 北電側七名組合側十八名

十一月九、十日 十時 訓練事務担当者研修会々議

於訓練センタ

十一月十日十七時 いなづま編集会議 於組合会議室

十一月十六日 北電より工事業者四名 登録承認（本紙新規加入組合員紹介参照）

十一月二十七日十三時 第八回役員会 於組合会議室

十一月二十五日十四時 NHK電波障害防止会役員会 於NHK集会室

十二月四日十三時 電気工事業法説明会

渡島支庁主催 於労働会館

十二月五日十三時 電気工事業法説明会

桧山支庁主催 桧山支庁会議室

十二月五日十三時 町会街路灯会議室

於労働会館 伊東理事出席

十二月八日 札幌連合会役員会 大倉理事長

細川副理事長出席 於連合会会議室

十二月八日 品沢電気代表者早坂清吾氏夫人逝去

花輪及香典贈る。通夜及告別式 佐藤理事出席

十二月十一日十四時 商工中金新築披露パーティ

理事長出席
一、新年宴会について

会場の関係等種々審議の結果左記の通り決定した。

記

一月二十一日（水）午後五時 於湯の川大和旅館
尚 追って御案内申し上げますが繰り合せ多数御出席の程願います。



「組合員の横顔」

道南電気工業所

片岡 勝 雄

「これからは若い人の世の中、吾々老兵の出る幕では……」と固辞されましたが、今回の組合員の横顔は無理にお願いして、道南電気の片岡さんに登場して頂きました。



明治三十九年生れ、現在の寿都町の出身、品沢電気の早坂さん、北邦電気の前社長加進さんは当時の隣りの村の出身との事。片岡さんは大正九年、当時の函館水電に入社、昭和六年退職後は日魯漁業のカムチャツカ漁場に毎年五月より九月迄

電気の設営保守の作業に約七、八年間従事し、太平洋戦争で戦雲ただならぬ情勢のため、漁場行きを止め、山田工業所（初代の組合理事長）に勤務し、昭和三十年自営の道を踏み出し爾来北電指定業者として活躍されて来られました。一昨年亀田町富岡に居を構え、現在業務は息子さんが主となって切り盛りされて居る由、奥様も健在です。

片岡さんが電気工事に始めて従事された大正年代の工事屋の風俗体験談の一端を紹介します。

まづ服装は水電会社のネーム入りの印半纏に股引をはき、草履又は地下足袋といういでたちで、現場へ行く時は大八車に材料を入れる御用籠、半田ゴテを焼く為の鉄の筒、小物入れ用の筒型の籠、それに木炭、ベンダー、モール、電線、碍子、等の工具材料（現在経験五年以上の年輩者には昔懐かしい品々です。或る年或る一日の生活を再現すると、新米さん（当時の片岡さん）は朝七時出勤する最先輩達よりも一足先に、今日の引込改修工事の足溜りにする民家に向けて一走り、先づ木炭で火を起し、お湯を沸かし海岸町の浜で生イカと雑貨屋で酒を仕入れ、イカは刺身に切り刻み酒はカンをして、監督先輩達の到着を待つという工事

範囲手順人員の割り振りと採配し、電工さん達がそれ現場に散って行くと、監督はイカ刺しで一杯やり乍ら一日を暮らすという接配です。

全く古き良き時代ではありました。その酒代はと云え、曲柄碍子等の入っている函や屑線の販売代金？と云う訳です。組合に対する希望はと尋ねましたら「各々立ち場、考え方方が違うのだから、議論するのはいくらでも結構であるが、お互いに業者同志なのだから共存共榮の意味からも、感情に走ったり、他人の足を引っ張ったりするような行動は慎みたいものです」との事。総会等での理事側に対する、鋭い質問を浴びせる片岡さんも単なる一言居士に非ず。大所高處に立つての発言であると感じさせられました。駒井

新春を思う

工藤 義一

あけましておめでとう御座居ます。

「いなづま」発行以来三回目の正月を迎いまして、今回は編集員としてではなく、五十路に近くなつた男の心を書いてみます。

私が生れて半年目に、父は二十五才で此の世を去つて行つた。

人生五十年とすれば、二十五年を残して行つた事になるので私は父の残した「財産」を引ついで七十五才までは生きるのであるとすれば私の旅路も三分の二は歩いて來たのである。近く父親の五十年忌をする事にならぬが、息子と娘は成人になる。息子は背広をねだり娘は着物をねだる。私を父親として我が家を言つて来る。しかし私はがままと言える人がいなかつた。

娘は物をねだる。私を父親として我が家を言つて来る。しかし私はがままと言える人がいなかつた。

と思う。今在る自分が幸福なのだと、素直に喜びたいものである。旅路の終りはいつ来るかは知らないが、其の日がいつても良い様に悔のない、楽しい旅を続ければいいものである。私の我がままをきいて呉れる人、それは妻である。「かあさん」と仲良く元気で楽しい旅をゆっくりと歩きたいたと思う。

◎交通安全◎

交通戦争からあなたや家族の身を守る最大の条件は正しい交通ルールを実行することです。

しかしながらして交通事故に直面したときは、第一に加害者のナンバーを記憶メモすることです。

そのわけは

※被害者を病院まで自分の車にのせ病院の玄関で「あとから来る」と言つて逃げる。

※被害者が病院で治療中「電話してくる」と言つて逃げる。

※被害者に他人の名刺を出して逃げる。※被害者を自宅に送る途中トイレに行くと言つて逃げる。

※事故現場で野次馬などの混雑にまぎれて逃げる。※自宅まで送り家族が病院に行く準備中逃げる。

※事故当時現場でなんでもないと相手の氏名、ナンバーをメモせず別れ、翌日体が悪くなつて加害者が判らない。

※被害者に他人の住所氏名を言つて逃げる。など事故の事例が本年に入つて急に多くなっていますので、相手の車のナンバーだけは必ず記憶メモして下さい。（出来れば運転免許証を見せてもらう。）また事故に関係ない人でも交通事故を目撃したときは自動車のナンバーをメモして、お互いに交通戦争から身を守るように致しましよう。

佐々木三男
以上

おおつごもりの大晦の記き

平沼智子

史上最高のボーナスが新聞、テレビその他でピールされたお蔭で、中小企業のトップは神経疲労の厳しい年末であった。デパートに入ると一万円札がとぶようにと云う表現が、正にピツタリの年末風景である。毎年毎年景気の上昇は喜こばしいことなのだが、このむなしさは何であろうか。お金の価値がなくなつたとは云へ、小さな子供が札ビラを切つてデパートの玩具売場に居るのを見ると、云い知れぬさびしさに襲はれる。ある文に次のようなことが出て居た。なるほどまいことを云うと思って、無断で借用する。タイトルは「マミムメ消費を止めて、ヤイユエ消費をするべきだ」と云うのである。

さて内容は

マ(惑)どはされ買いやよそで買ったからと対抗するミ(見)え買い、良いから安いからとム(無)だ。買い物、月賦に追はれるモ(文)んなし買ひをやめて良い消費は勞を惜しまず歩いてヤ(安)すいものを探し、イ(要)るものだけを買い、要らぬものは買はぬユ(勇)うきを持ち、鯛より鰯の栄養をエ(選)らんで買い、利用価値を考へてヨ(予)さんをたてて買物することこそ、金の価値を正しく知つて居る人間である。と云うことである。

子供の頃、お祭りに十銭、二十銭もらうことが無上の楽しみであり、又その大切な小使をどのように最高の欲望を満たすように使うかが、尚一層の楽しみであった。今その頃の自分と同じ年令の子供の買物をみて居ると、空おそろしい気持になる。時代が変つたとは云へ、金の価値の知らぬ子供が大金を持って買物をすることが、平然と行なわれて居る昨今長じてこの子供らが大人になつた時、果して金の価値がわかるのだろうかと思う。单にほしいからと云う子供の欲望のみを

満たすだけの、親の見せかけの愛情であつたなら、大人になつた時子供は汗の価値をどれだけ知るであろうか。

権利と義務は表裏一体でありながら、えてして義務が忘れ勝ちになるのも、義務を遂行してこそ、当然の権利としての報酬でなければならぬのに、近頃の争議は権利のみが表面化し、空転し、義務がかくれてしまつた感じを受ける。

幸い大過なく七十年代も終りとなつた。いろんな意味で公私とも変革の年ではあつたが、まあ／＼除夜の鐘を聞くことが出来る伴せを喜こぶべきことなのだろう。

賀 正

新しい住まいづくり

松下電工株式会社

函館出張所

函館市東川町二十五
T函館 ②二九五八

謹賀新年

工事材料電化製品

丸晃電気株式会社

函館市海岸町四十七

T ⑤一三一三

新 春

電気資材卸

大興電機株式会社

函館市千歳町六
T ②六二一一一

謹賀新年

総合卸商

隆東電機株式会社

函館市大繩町一番四号
T ②六二一一一

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

より良い明日の住いのために

「東芝設備機器センター」を
御利用下さい

謹賀新年

品質奉仕の

三菱電機株式会社

東芝商事(株)札幌支店
函館特販営業所
電話五三一二三四一〇三
函館市大繩町二十二番十四号